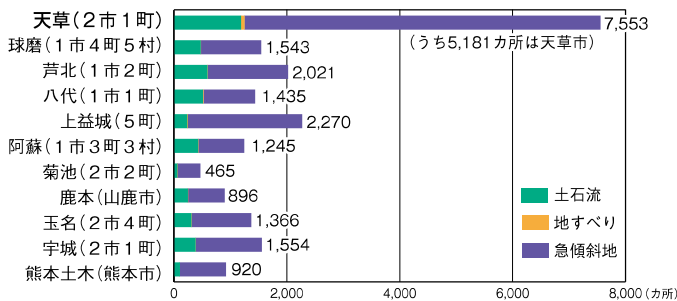


県内では、21、268カ所を土砂災害警戒区域等に指定しています。そのうち約4分の1にあたる5、181カ所が天草市にあり、8割が急傾斜地のレッドゾーン（特別警戒区域）の指定です。天草管内では、毎年土砂災害が発生しており、注意が必要な地域です。

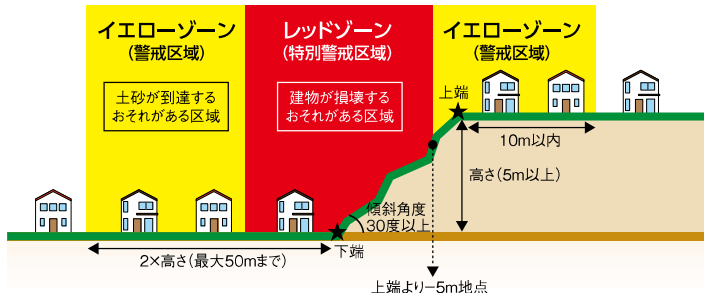
◆土砂災害警戒区域等指定状況（H30.3.31）



熊本県 土砂災害情報マップ 検索

◆土砂災害に注意する場所は どんなどころ？
土砂災害の種類は、土石流・地すべり・急傾斜地の崩壊の3つがあります。警戒区域の設定は、これまでの災害などをもとに基準が決められ、現地調査をしてレッドゾーンとイエローゾーンを指定しています。その場所は、県のホームページで確認できるほか、天草広域本部工務第2課で直接確認することもできます。

◆急傾斜地の区域設定基準



その1 危険度を把握する

◆天草市はどんな地域なの？

県天草広域本部土木部の牧本さんに聞きました
海に囲まれた天草は、平地が少ないため山のもとに住宅地が点在しています。そのため、住宅の裏手が斜面や崖という箇所が多く、土砂災害の被害を受けやすい場所が多い地域と言えます。

平成11年6月に発生した広島での土砂災害をきっかけに、土砂災害から住民の生命を守るために危険な区域を明らかにする法律が定められました。

県内では、21、268カ所を土砂災害警戒区域等に指定しています。そのうち約4分の1にあたる5、181カ所が天草市にあり、8割が急傾斜地のレッドゾーン（特別警戒区域）の指定です。



土砂災害から命を守る

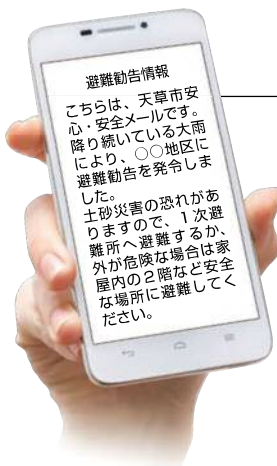
6月は土砂災害防止月間

ここ数年、1時間に50ミリを超えるような局地的大雨が増え、土砂災害による被害が多発しています。災害は、いつ・どこで起こるか予測が付きません。だからこそ、日ごろからの備えが命を守ることに繋がります。

雨量が増え土砂災害の危険が高まるこの時期に、今一度確認しておきましょう。

【問い合わせ先】本庁・防災危機管理課 ☎ 1111





天草市安心・安全メール、登録していますか？

～市内の災害・交通情報などが
携帯メールに届きます～

避難勧告や避難所開設などの情報を電子メールで携帯電話やパソコンに配信するサービスです。登録料は無料です。皆さん、ぜひご利用ください。

【登録方法】

re-ansin@amakusa-web.jp
または右のQRコードにアクセスして空メールを送信し、返信メールの案内にしたがって登録してください。



QRコード

その2 情報を収集

大雨が続く土砂災害の危険度が高まると「土砂災害警戒情報」が発表されます。防災行政無線の呼びかけやみづばラジオ、テレビ、インターネットなどから情報を収集しましょう。

戸別受信機を全戸に設置します（9月から）

市民の皆さんへ迅速かつ正確な災害情報などを伝えるため整備を進めている防災行政無線。屋外スピーカーの設置が完了し、運用を始めていますが、今年度は戸別受信機を各世帯と病院や学校、保育園、避難所など公共性の高い施設に設置していきます。

戸別受信機の設置により、台風や暴風で雨戸を閉めていたり、雨音などで屋外スピーカーの放送が聞き取りにくい場合でも、情報の聞き漏らしを防ぐことができます。

■戸別受信機の特徴

- ①放送
 - ・自動で放送が流れます。
 - ・放送音量が調整できます。
 - ・緊急放送は最大音量で放送され、LEDライトが点灯します。
- ②録音再生
 - ・放送内容が録音され、聞き逃した場合や留守中の放送が確認できます。
 - ・繰り返し再生が行えます。
- ③電源
 - ・家庭用電源（AC100Vコンセント）。
 - ・停電時は乾電池で作動します。
- ④設置
 - ・壁掛け（金具付き）または据え置き。
- ⑤対象
 - ・1世帯（住居）に1台。

- 放送内容
 - ▶全国瞬時警報システム（Jアラート）
 - ▶緊急地震速報
 - ▶火災や避難勧告など
 - ▶行政情報「こちらは防災天草市役所です…」



【設置方法】

9月から業者が各家庭を訪問して設置していきます。電波状況が悪い場合は、戸別受信機と併せて屋外アンテナを設置する場合があります。設置料金は無料です。設置する業者や日程が決まり次第、各地域にお知らせします。

△ 次のような前兆には注意 △

- 崖から水が湧き出したり、亀裂が入る。
- 崖から小石などが落ちてくる。
- 樹木や電線が傾く。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 急に川が濁り、流木が混ざる。 など



◆ 区域に指定されていたら…
土砂災害は突然発生し、速いスピードと強い力で人の命や家などの財産を奪い、道路などの交通網にも大きな被害を及ぼします。他の場所よりも土砂災害の危険度が高い地域に住んでいるという認識を持ってください。その認識があれば、大雨のときなど注意を払うことができ、家の中でも斜面から離れたところで寝るなどの対応もできます。「わが家は大丈夫」といった油断は禁物です。

◆ レッドゾーンからの 移転費用を助成

県では土砂災害の心配のない安全・安心な暮らしを実現するため、「土砂災害危険住宅移転促進事業」を行っています。レッドゾーンに居住する人が安全な区域へ住宅を移転する際の費用を最高で300万円まで助成します。
※昭和26年以前（条件によっては昭和35年以前）に建築された一戸建て住宅で崖に近接する住宅の場合



合は「がけ地近接等危険住宅移転制度（最高49.5万円）」との併用もできます。詳細は、お尋ねください。
【問い合わせ先】本庁（別館）土木課または建築課／天草広域本郷工務第2課 ☎4643



防災マップで地域の危険度の確認を!!

防災情報や地域別のハザードマップをまとめた「天草市 総合防災マップ」を全戸配布します。ハザードマップでお住まいの地域の危険箇所や避難場所を、家族の皆さんで確認してください。マップには、今回紹介したレッドゾーン・イエローゾーン（土砂災害警戒区域等）も確認できます。

日ごろの備えや非常時の持ち出しリスト、いざというときの行動のポイントなども掲載しています。家族みんなが目につくところに置いておきましょう。

その3 早めの避難

市では、状況を予測しながら避難所を開設しますので、危険度が高くなる恐れがある場合は早めの避難をお願いします。

夜間に大雨が予想される場合は、暗くなる前に避難をすることより安全です。

高齢者や障がいのある人、小さな子どもがいるなど避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めの行動を心がけましょう。

また、災害は家族がそろっているときに起こるとは限りません。日ごろからわが家の避難場所や家族の連絡方法を確認しておきましょう。

わが家の避難所は・・・

風水害のとき

地震・津波・高潮のとき



【非常持出品、準備していますか？】

すぐに持ち出せるように、家の出入り口に近い場所や外の物置などに置いておけば安心です。飲料水などかさばる備蓄品は、車の中の保管も有効です。

右のチェックリストのほか、自分や家族の状況に応じて、必要なものは変わります。平常時にこそ、わが家には何が必要になるのか持ち出しリストを作成しておくことで非常時に役立ちます。

飲料水は、大人1人で1日2～3リットル必要です。2リットルのペットボトルのほか、500mlの小分けのペットボトルがあれば、コップを使わずに飲めるので便利です。



▲4人家族で1日に必要な飲料水

次のものを3日分は準備しておきましょう。

■チェックリスト

- 非常食
- 懐中電灯
- 飲料水
- 携帯ラジオ
- タオル
- 電池
- 貴重品
- 衣類
- 常備薬など
- 現金



▲非常持ち出し品の例

災害時どう行動する？

熊本地震を経験したママの声

「ママと子どもたちのためのもしもノート」

このハンドブックは、熊本地震で被災した子育てママの声をまとめた防災冊子です。市内で子育て環境をよりよくしようとして活動しているNPO法人「子育てネットワークわ・わ・わ（話・和・輪）」が作成しました。

4月で発生から2年を迎えた熊本地震。被害が大きくなかったここ天草でも、災害がいつ発生し、被災地・被災者となるかわかりません。実際に体験したママたちの声に耳を傾けてみませんか。



被災地で見たもの

天草地方は比較的震災の被害が少なく、「私たちができることを何かしなくては」と同法人理事長の澤田福美さんは被災地に入りました。そこで目にしたのが子どもの気持ちを一番おいて行動しているお母さん、お父さんたちの姿でした。災害時であっても育児は待たない。特に子どもが小さいほど、親や家族の手助けは欠かせません。

同法人は、被災地で子どもたちに遊ぶ場所や機会を提供する「子育て広場」を行う団体の運営を支援。10カ月活動が続ける中で、お母さんたちからいろいろな声を聞きました。

アンケートを実施してまとめた冊子には、避難所で困ったことや必要な物資のほか、子育て世代の防災グッズチェックリスト、レジ袋やタオルを使った簡易おむつの



▲わ・わ・わ理事長の澤田さん

作り方なども掲載しています。実際に被災したママたちの声は、体験に則したものであり、どれも説得力を持ちます。

大人が必要なものと子どもが必要なのは違いますし、月齢によっても必要なものも変わってきます。冊子を参考に、それぞれの状況にあった必要なものをぜひ準備しておいてください。

改めて感じた「コミュニケーション」の重要性

物の備えに加えてママたちの声が多かったのが、「家族や地域の人とのコミュニケーションの大切さ」です。多くのママたちが災害によって「人とのつながり」の重

冊子は、わわわのおうち（本渡町広瀬）のほか、子育て中のママが手に取れるよう、各保健福祉センターや子育て支援センターなどにも設置してあります。

☎ NPO 法人子育てネットワーク
わ・わ・わ（話・和・輪）
☎080(8382)7228
✉ info@wawawa-kosodate.net

携帯用充電器、LINEが役に立った。電話やメールは全く通じなかったので・・・

子どもに必要なものが役に立った。（紙おむつ、おしりふき）は、多めにストックしておくとうい。

いつ皆さんの所が同じようになるかわからないので、普段から心構えを・・・

支援物資には子どもの主食となるものが少なかった。

▲被災したママたちの声

要性を実感し、災害後はあいさつをすることが増えたと答えています。

子育て中であることを地域の人が知ってもらって、近くにどんな人が暮らしているかを知っておくことも、日ごろからできる備えの1つです。